

会議録

会議の名称	第6回子ども子育て審議会計画専門部会
開催日時	令和5年10月31日（火曜日）午前9時30分から11時まで
開催場所	田無第二庁舎4階会議室3
出席者	委員：小野委員、井上委員、島崎委員、菅野委員、武田委員、平野委員、中村委員 事務局：遠藤子育て支援部長、岡田子育て支援課長、齋藤幼児教育・保育課長、笹本幼児教育・保育課主幹、中村幼児教育・保育課主幹、河野児童青少年課長、宮崎子ども家庭支援センター長、栗林子育て支援課長補佐、本谷子育て支援課調整係主査、須藤子育て支援課調整係主事
議題	1 審議 (1) ヒアリング調査について ①ヒアリング対象者について ②学童クラブ利用保護者へのアンケートについて ③おやじの会へのアンケートについて ④支援者への追加設問について ⑤ヒアリング調査への計画専門部会員の参加について 2 その他
会議資料の名称	資料1 ヒアリング調査対象一覧 資料2 ヒアリングシート（案） 学童クラブ利用保護者 資料3 ヒアリングシート（案） おやじの会 資料4 支援者対象 追加共通設問
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
1 審議 (1) ヒアリング調査について ①ヒアリング対象者について ○小野部会長： 本日は、ヒアリング調査について、第3回子ども子育て審議会ですらに議論を深めるよう指示のあった事項を中心に議論したいと思う。 なお、本日の審議内容は、森田審議会長に報告する。 ①ヒアリング調査の対象者について、審議会でご意見があがっていたため、今一度、事務局から考え方を整理していただきたい。 ○事務局： 今回のヒアリング調査では、子育て家庭が日々感じていることや希望する支援、地域の方々が支援を通して感じている子どもや子育て家庭の状況などを丁寧に把握し、この先10年間の計画の施策の方向性や取組に反映することを目的としている。 審議会では、学童クラブ指導員や適応指導教室職員、スクールソーシャルワーカーな	

どが追加候補に挙げたが、子どもや子育て家庭に接している立場としての市職員や関係者の気づきや声は、市の内部で調整が可能であるため、今回のヒアリング対象から外している。

また、追加候補として青少年育成会というご意見があった。保護者や地域住民の方、保育園や幼稚園の子どもに関する施設の方などがそれぞれの立場に関わり、青少年育成会を構成している。このような方々の子どもや子育て家庭の様子に関する声は、すでに対象としているヒアリングから伺えるものと考えている。

また、学童クラブを利用している子どもの声については、令和6年度に子どもの声の聞き取りを予定しているので、ご意見いただいた要素を取り入れて参りたい。

以上の理由から、資料1に掲載の方を今回のヒアリング調査の対象者としてご確認いただきたい。

○小野部会長：

何か質問はあるか。

○委員

特になし

○小野部会長：

それでは、対象者は資料1のとおりとすることでよろしいか。

○全員：

異議なし

○小野部会長：

それでは、対象者は確定とする。

②学童クラブ利用保護者へのアンケートについて

○小野部会長：

対象者が追加となったため、ヒアリング内容を審議する。事務局から説明願う。

○事務局：

資料2に沿って説明

学童クラブ利用保護者へは、アンケート方式を予定している。既に作成している保護者・利用者を対象としたアンケート様式を参考にして作成した。

○小野部会長：

何か意見や質問はあるか。

○平野委員

「学童クラブを利用して良かったと思うこと、困っていること・もっとこうなってほしいと思うこと」と「学童クラブにどのようなサービスがあるとうれしいか」は、選択肢を設けた上で、自由記述があった方が良いのではないか。このアンケートをいきなり

答えることを想定すると回答しづらく、未回答が多くなるのではないかと思う。

○小野部会長：

具体的にはどのような選択肢があると良いと思うか。

○平野委員

例えば、よかったと思うことは、子どもを預かってもらえること、新しい遊びができる、クラス以外の友だちや異年齢の友だちと遊べるなどが挙げられる。

また、困っていることは、夕方に通学路と全然違う道を少人数で帰るのが危ない、預かり時間が午後6時までであることが考えられる。保育園であれば預かりの延長や食事もお願いできていたので、小1の壁を感じる保護者は多いのではないか。

○小野部会長：

自由記述を基本とする様式に関しては、これまで議論してきた保護者対象の他のアンケートと同じ形式であるからだと思うが、学童クラブ利用保護者のみ選択肢を設けるかはどちらが良いと思うか。

○井上委員

当事者として、いくつか回答が思いつくが、書くのが面倒というのは感じる。選択肢に併せて「その他」を設けたり、例示する方法もあると思う。

○小野部会長：

普段から思っていることがある方であれば、回答に困らないかと思うがいかが。

○中村委員

選択肢があった方が、回答しやすくなると思う。

○武田委員

選択肢があることで量的な把握ができると思う。

○菅野委員

保護者は、長期休みの対応など要望はいろいろあると思う。選択肢に併せて自由記述を設ける方が良いと思う。

○井上委員

例えば、選択肢で「開所時間」にチェックして、自由記述に遅くまで開いていないや、早い時間に開いていないなどを記載することもできるのではないか。

○小野部会長：

学童クラブは、サービスを受けるという点で、他の保護者や利用者の質問とは要素が異なるので、選択肢を追加する方向で修正いただきたい。

○事務局：

修正する。

○菅野委員

ほっとルームを知っているかという質問も追加していただきたい。子どもが相談できる良い場所があるので、保護者が知るという意味からも質問があった方が良くと思う。

○小野部会長：

ほっとルームの認知度に関しては、支援者への追加設問を予定していたが、保護者へのアンケートに追加するかは議論していない。先に、資料4を確認いただきたい。

学童クラブ利用保護者のみに尋ねるか、または全ての保護者・利用者に質問を追加するか、どちらが良いか。

○事務局：

子育て支援ニーズ調査にほっとルームに関する設問があるため、今回の保護者対象の調査には入れていない。

○平野委員

子どもが学校から子ども相談室の資料を持ち帰るので、保護者も聞いたことはあるだろうが、どのような活動をしているかは知らないかもしれない。

○小野部会長：

アンケートを通じて、より認知は広まると思う。それでは、保護者・利用者のうち、ファミリー学級参加者、学童クラブ利用保護者、PTA・保護者の会を対象としたアンケートに、ほっとルームの認知度をはかる質問を入れていただきたい。

○事務局：

修正する。

○菅野委員

設問の「児童館・児童センターを利用しているか」と、「学童クラブにどのようなサービスがあるとうれしいか」は、順番を入れ替えた方が良く思う。

また、子どもの発達に関する質問が多く、不安な気持ちにさせるのではないか。

○事務局：

「発達に関して悩んだことがあるか」と「悩んだ際の相談や支援」に関する質問を統合する。PTA・保護者の会のアンケートも併せて修正する。

○島崎委員

「利用していて良かったこと、困っていること、もっとこうなってほしいと思うこと」と「どのようなサービスがあるとうれしいか」は、別の質問になるのか。

○小野部会長：

同じような質問であるので、統合いただきたい。

○事務局：
修正する。

○井上委員

P T A ・保護者の会では、アンケートをGoogleフォームに落とし込んで実施しようと考えている。

○事務局：

アンケートをWEBから回答できるフォームを作成し、提供することも可能である。

○小野部会長：

事務局でWEB回答を対応いただきたい。学童クラブ利用保護者も回答しやすいと思う。

○小野部会長：

続いて、実施方法について、審議会では委員の利用している学童クラブで実施するという意見が出ていたが、いかがか。

○平野委員

一つの小学校でいくつかの学童クラブがあり、子どもの人数や細かいルールや方針などソフトの部分が異なっている。

○小野部会長：

どこの学童に依頼するかによって回答が変わってくるということか。

○井上委員：

委員が利用している学童クラブとした場合、北側の学童クラブがないと思う。また、民間事業者の学童クラブも異なると思う。

○平野委員

資料では10～20人を想定人数としているが、アンケートによって想定人数を超えることは問題ないか。

○事務局：

WEB回答であれば集計も負担が少ないため、問題ない。

○小野部会長：

対象学年を決めてアンケートを取るとことも考えられるが、いかがか。

○井上委員

私が利用する学童クラブは、全体で100人程度が利用しており、小学1年生が50人弱、2年生が30人程度、3年生と4年生は数人の利用であったと思う。

○菅野委員

施設が駅に近い場所か、あるいは住宅街の中にあるかによって、保護者の考え方も変わると思う。

○事務局：

事務局から運営協議会に確認したところ、運営協議会を通じた実施は難しいとのことであった。また、全施設の保護者を対象とした場合、他のアンケート調査と母数に差異が生じるため、委員が利用している学童クラブで実施したい。

市域北部の施設については、1か所調整したいと思う。

○小野部会長：

学童クラブ利用保護者は、WEB方式のみで実施できればと思う。

どの学年で実施するのが良いと思うか。

○事務局

利用者は、小学1・2年生が多く、3年生以上は少ない状況であり、学年によって捉え方が変わる可能性はあると考える。

○井上委員

小学1年生は保育園との違いを感じ、3・4年生は卒所後の不安などが想定できる。

○小野部会長：

その学年のタイミングでしか聞けないこともあるため、広く意見を伺った方が良いと思う。

○武田委員

小学1年生の保護者は学童クラブの利用が切実で、2～3年生でなお利用している方は、それなりの経験を積んでいるので、学童に対して要望を持っていると思う。そのため、問題を把握するという点では数年継続して利用している小学3～4年生の保護者を中心にアンケートを取った方が良いのではないかと。

あとは、可能であれば公営施設と民営施設の両方から意見を取れると良いと思う。

○小野部会長：

小学2～3年生の保護者は、1年生のことも覚えていると思う。

○武田委員

小学3～4年生になってくると、習い事など学童以外の場所に流れる実態だと思う。その中で学童を本当に必要として利用されている方に意見を聞けると良いと思う。

○平野委員

友だちが退所したこともあり、子どもが学童クラブに行きたがらず、親としては行ってくれたら助かると感じることもある。このような方の意見も聞けると良いと思う。

○小野部会長：

小学校2年生以上を対象に、委員が利用している施設に1か所追加した3か所でWEBアンケートを実施できれば良いと思うがいかがか。

○事務局：

WEBで回答していただく場合、どのような形で実施できるか。

○井上委員

用紙をいただければ転送可能である。子どもが手紙を持って帰らないこともあるため、父母会メーリングリスト等で共有することの方が確実であると思う。

○平野委員

父母会は解散しているところもあると思う。メーリングリストはあると思うが、学年で設定して送るなどは難しいと思う。

○事務局：

それでは、QRコードとURLを記載した用紙を配布する。

○小野部会長：

北側の施設に関しては事務局で打診願う。

○島崎委員

ひばりが丘児童センター内の学童クラブが良いと思う。ひばりが丘は近年転入された方が多い地域のため、違った意見が取れると思う。

○小野部会長：

その他に何かご意見等があれば、11月2日（木）までに事務局にご連絡いただきたい。また、修正の確認については、部会長に一任いただきたい。

○全員

異議なし

③おやじの会へのアンケート

○小野部会長：

おやじの会のメンバーの方への質問内容が、保護者としての立場の方々に尋ねる内容が中心となっていたため、その点を少し議論できればと思う。事務局から説明を願う。

○事務局：

資料3に沿って説明

○小野部会長：

何か質問や意見はあるか。

○菅野委員

変わってきたと感じることの選択肢に「特にない」があった方が良いのではないか。

○事務局：

「あてはまるものがあれば」としていたので、これまでも選択肢に設けていなかったが、追加した方が良いか。

○小野部会長：

追加いただきたい。

○事務局：

追加修正する。

○菅野委員

おやじの会の活動としては、主にイベントに携わっていると思う。イベントの中で相談されたり、困りごとが分かることは少ないのではないと思うがいかがか。

○島崎委員

私に関わる地域では、おやじの会の活動が活発である。在校生よりも卒業生の保護者の方が多い。また、子どもの発達のことでも話を聞いたケースはあった。先日も児童館のイベント開催の際には、実行委員会が月2回程度あり、そのような場で話が出てくるようである。

○菅野委員

質問にすることで意識してもらう機会になると思う。この質問で問題ないと思う。

○小野部会長：

それでは、部会での修正意見と部会後の意見等をヒアリングシートに反映願う。また、修正の確認については、部会長に一任いただきたい。

○全員

異議なし

④支援者への追加設問について

○小野部会長：

審議会において、全ての支援者の方に、子どもの参加や意見表明権の考え方を問う内容を追加することとなったため、議論したいと思う。事務局から説明願う。

○事務局：

資料4に沿って説明

○小野部会長：

何かご意見や質問はあるか。

○委員：
特になし

○小野部会長：
資料4の設問をヒアリングシートに反映願う。また、修正の確認については、部会長に一任いただきたい。

○全員
異議なし

⑤計画専門部会員のヒアリング調査への参加について

○小野部会長：
先日の審議会において、部会員がヒアリングに参加することが決定した。事務局から説明願う。

○事務局：
委員の様々な立場から、子育て家庭や支援者に聞き取りをしていただくことで、ヒアリング調査を充実することができるため、ご協力を賜りたい。

ヒアリング調査については、ヒアリング当日に該当場所に出向き、委員を中心に聞き取りをお願いする。また、ヒアリング調査内容の報告書を作成いただく。

訪問1日につき委員報酬をお支払いする予定であり、予算に限りがあるため、お一人3～4回程度でお願いしたい。

ヒアリング調査は、これまで、12月から2月頃を予定していた。ヒアリング調査に委員に参加いただくこととなり、報告書についても部会等で議論いただきたいため、審議日程を考慮しヒアリング調査を早めることとした。

活動日や開催日の関係で訪問日が決まっている場所については、参加可能な方がいない場合は、事務局のみで実施する。その他は、参加される委員の方と訪問先との日程を調整して参りたい。

○小野部会長：
何かご意見や質問はあるか。

○島崎委員
放課後カフェは、活動時間が午後4時～午後5時30分である。当日はスタッフが3人のため、活動前後の生徒がいない時間帯を予定いただく方が良いと思う。

○菅野委員
ヒアリングを実施していることが分かる委員の名札があると良いと思う。

○事務局
用意する。

○小野部会長：

それでは、委員の希望を伺いたい。

○井上委員：

ぞうさん文庫を希望する。また、ぼくる一むも希望する。

○菅野委員：

ちろりん村と地域子育て支援センターを希望する。

○武田委員：

のどか広場を希望する。また、ちろりん村と地域子育て支援センターを希望する。

○平野委員：

地域福祉コーディネーターを希望する。また、ひばりが丘児童センター、ぼくる一むも希望する。

○中村委員

北原児童館とひばりが丘児童センターを希望する。

○島崎委員

放課後カフェを希望する。

○小野部会長：

ヒアリング調査の実施については、大枠が確定したため、一覧表を更新し、審議会長に報告する。日程調整については、引き続き調整願う。

2 その他

○事務局：

本日も審議いただいたヒアリング調査の実施一覧及びヒアリングシートについては、部会長にご確認いただいた後、審議会長に報告する。

次回の会議については、改めて日程調整させていただく。

○小野部会長：

それでは、第6回子ども子育て審議会計画専門部会を閉会する。

閉会